



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 ゼビオホールディングス株式会社
 コード番号 8281 URL <http://www.xebio.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) グループ財務担当執行役員
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
 (氏名) 諸橋 友良
 (氏名) 中村 和彦
 TEL 03-6870-6008

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	173,948	0.2	4,578	30.2	5,015	29.5	1,655	54.7
2019年3月期第3四半期	174,301	1.3	6,558	36.7	7,114	34.3	3,657	35.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,727百万円 (50.1%) 2019年3月期第3四半期 3,463百万円 (37.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	37.45	37.35
2019年3月期第3四半期	82.17	81.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	198,310	118,633	59.5	2,670.92
2019年3月期	184,054	118,481	64.1	2,667.14

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 118,086百万円 2019年3月期 117,919百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		17.50		17.50	35.00
2020年3月期		17.50			
2020年3月期(予想)				17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	238,419	2.9	6,931	20.2	7,598	13.0	2,103	11.6	47.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	47,911,023 株	2019年3月期	47,911,023 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	3,699,265 株	2019年3月期	3,699,043 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	44,211,842 株	2019年3月期3Q	44,508,072 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の実績はこれらの予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、10月に実施された消費税率引き上げに伴う実質所得の低下、駆け込み需要の反動、台風19号による国内需要の落ち込み、中国経済の減速を背景とした輸出の低迷が重なり、景況感の低迷が続いております。

スポーツ用品販売業界におきましては、国際的なスポーツイベントの日本開催に伴う盛り上がりなどが見られましたが、梅雨明けの遅れや大型台風の到来、本格的な冬物商戦に突入する時期に暖冬となったことなどにより、ウィンタースポーツ関連を中心に防寒衣料品の購買モチベーションが高まらず、厳しい状況が続いております。

この様な状況のなか、当社グループにおいては、客数増加のための販売促進の実施やグループ内の既存店業態変更及び不採算店舗の閉鎖を行いました。その結果、売上高では前年同期比で0.2%の減収となりました。また、利益面では、消費税率引き上げへの駆け込み需要に対応しつつ、よりきめの細かい売価コントロールをしたことにより、前年同期比で売上総利益率を0.2%改善させました。

出退店につきましては、客層拡大を目的とした業態開発や上記の店舗施策により、国内外で76店舗を出店し、76店舗を閉店しました。以上の結果、12月末時点のゼビオグループの店舗数は、前連結会計年度末と同数の867店舗となりました。また、グループ合計の売場面積は前連結会計年度末に比べて1,197坪増加して、196,870坪となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高1,739億48百万円(前年同期比0.2%減)、営業利益45億78百万円(前年同期比30.2%減)、経常利益50億15百万円(前年同期比29.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益16億55百万円(前年同期比54.7%減)となりました。

[主な商品部門別の営業概況]

<ウィンター用品・用具部門>

ウィンター用品・用具は、記録的な暖冬影響を受け、例年より降雪量が少なく各地のスキー場のオープンの遅れ、ウィンタースポーツ機会が減少したこともあり低調に推移いたしました。

以上の結果、ウィンター用品・用具部門の売上高は、前年同期比15.0%の減少となりました。

<ゴルフ用品・用具部門>

ゴルフ用品・用具は、暖冬により防寒衣料小物やアパレルの販売は低調に推移しましたが、温暖な天候というプレー環境での追い風があり、人気ブランドの新商品のローンチもあったことからグッズの販売が好調に推移いたしました。

以上の結果、ゴルフ用品・用具部門の売上高は、前年同期比3.4%の増加となりました。

<一般競技スポーツ・シューズ部門>

一般競技スポーツでは、ワールドカップの開催で盛り上がったラグビーや、NBAやBリーグで注目が高まったバスケットボール関連の販売は好調に推移したものの、健康器具におけるブームの一巡や、前年のサッカーワールドカップ需要の反動、シューズその他の販売不振により低調に推移いたしました。

以上の結果、一般競技スポーツ・シューズ部門の売上高は、前年同期比5.2%の減少となりました。

<スポーツアパレル部門>

スポーツアパレルでは、本格的な夏物商戦時期の長雨や暖冬などに加えて、競争環境の激化により売上は低調に推移いたしました。

以上の結果、スポーツアパレル部門の売上高は、前年同期比2.7%の減少となりました。

<アウトドア・その他部門>

アウトドア・その他部門では、市場ニーズも高いタウンユース向けアウトドア商品が堅調に推移しました。また、カジュアルウェアの売場、品揃え強化により新たな提案をしたことで販売が好調に推移しました。

以上の結果、アウトドア・その他部門の売上高は、前年同期比3.9%の増加となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ142億55百万円増加し1,983億10百万円となりました。主な要因としては、商品の増加などにより前連結会計年度末に比べ流動資産が147億33百万円増加し1,328億38百万円となったこと、固定資産が前連結会計年度末に比べ4億78百万円減少し654億72百万円となったことによります。

当第3四半期連結会計期間末の負債の部は、電子記録債務が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ141億3百万円増加し796億76百万円となりました。また、純資産の部は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が1億9百万円増加したことなどにより1,186億33百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月24日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,328	14,213
受取手形及び売掛金	21,775	24,607
営業貸付金	1,604	1,546
商品	68,419	82,335
未収還付法人税等	1,080	747
その他	7,324	9,839
貸倒引当金	△428	△452
流動資産合計	118,104	132,838
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	47,850	47,118
減価償却累計額	△34,049	△33,790
建物及び構築物(純額)	13,800	13,327
土地	15,740	15,107
リース資産	2,794	2,656
減価償却累計額	△1,149	△1,129
リース資産(純額)	1,645	1,527
建設仮勘定	403	2,257
その他	18,675	19,945
減価償却累計額	△16,408	△17,041
その他(純額)	2,266	2,903
有形固定資産合計	33,857	35,122
無形固定資産		
のれん	3,732	3,194
ソフトウェア	1,175	1,025
その他	1,273	1,151
無形固定資産合計	6,181	5,372
投資その他の資産		
投資有価証券	1,085	785
長期貸付金	67	55
繰延税金資産	4,891	4,688
差入保証金	2,953	2,615
敷金	14,248	14,211
投資不動産	2,973	2,973
減価償却累計額	△1,216	△1,234
投資不動産(純額)	1,756	1,738
退職給付に係る資産	28	78
その他	1,224	1,284
貸倒引当金	△343	△481
投資その他の資産合計	25,912	24,977
固定資産合計	65,950	65,472
資産合計	184,054	198,310

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,471	21,573
電子記録債務	25,477	33,324
短期借入金	8	3
未払法人税等	474	893
賞与引当金	1,171	749
役員賞与引当金	15	7
ポイント引当金	1,561	1,556
その他	11,802	12,607
流動負債合計	56,982	70,716
固定負債		
長期借入金	504	558
リース債務	2,260	2,571
繰延税金負債	91	—
退職給付に係る負債	850	853
役員退職慰労引当金	59	59
資産除去債務	4,289	4,396
その他	535	520
固定負債合計	8,591	8,960
負債合計	65,573	79,676
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,935	15,935
資本剰余金	16,136	16,136
利益剰余金	92,365	92,474
自己株式	△6,497	△6,497
株主資本合計	117,940	118,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	244	86
為替換算調整勘定	477	626
退職給付に係る調整累計額	△742	△675
その他の包括利益累計額合計	△20	37
新株予約権	521	494
非支配株主持分	40	52
純資産合計	118,481	118,633
負債純資産合計	184,054	198,310

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	174,301	173,948
売上原価	106,214	105,542
売上総利益	68,087	68,406
販売費及び一般管理費	61,528	63,827
営業利益	6,558	4,578
営業外収益		
受取利息	71	36
受取配当金	11	15
為替差益	70	—
不動産賃貸料	668	758
業務受託料	252	256
その他	278	465
営業外収益合計	1,353	1,531
営業外費用		
支払利息	5	11
為替差損	—	57
不動産賃貸費用	514	601
業務受託費用	252	238
その他	24	184
営業外費用合計	797	1,093
経常利益	7,114	5,015
特別利益		
固定資産売却益	5	20
受取保険金	3	52
投資有価証券売却益	—	192
新株予約権戻入益	—	69
特別利益合計	8	334
特別損失		
固定資産除却損	81	163
固定資産売却損	—	1
減損損失	31	1,034
災害による損失	140	59
投資有価証券評価損	—	44
店舗閉鎖損失	10	9
その他	16	—
特別損失合計	280	1,311
税金等調整前四半期純利益	6,842	4,039
法人税、住民税及び事業税	2,569	2,220
法人税等調整額	612	150
法人税等合計	3,182	2,371
四半期純利益	3,659	1,668
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,657	1,655

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	3,659	1,668
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△85	△158
為替換算調整勘定	△124	150
退職給付に係る調整額	14	67
その他の包括利益合計	△196	59
四半期包括利益	3,463	1,727
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,461	1,715
非支配株主に係る四半期包括利益	2	12

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

当社グループのIFRS適用連結子会社は、第1四半期連結会計期間の期首よりIFRS第16号「リース」を適用しております。これに伴い、借手としてのリース取引については、原則としてすべてのリースについて資産および負債を認識しております。

本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他」が655百万円、流動負債の「その他」が271百万円及び固定負債の「リース債務」が443百万円増加しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。